

特集

70年の、その先へ

所沢市制施行70周年

11月3日に市制施行70周年を迎える所沢市。ここに暮らす全ての人たちの手で刻まれてきたその歴史を振り返り、共に未来へ向かう次の一步を踏み出しましょう。
 企画総務課 ☎2998-9046

70年前の所沢・70年間の所沢

所沢がこれまで歩んだ70年を振り返ってみましょう。

昭和25年11月3日、埼玉県で8番目の市として誕生した所沢。当時は4万2千人だった人口※も、今や34万4千人を超え

ました。昭和、平成、令和と変わり続けてきたこのまちは、今も変化しながら市民とともに歩み続けています。

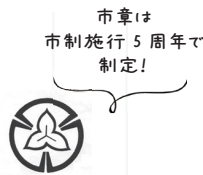
※市制施行当時の市域の人口

所沢の歩み

誕生!

1950 (昭和 25)
52,188 人

所沢町から所沢市となり、埼玉県で8番目の市が誕生…写真①



10th

1960 (昭和 35)
68,223 人

現在の老人福祉センターとところ荘の場所で市民会館の建設に着手、翌年(昭和36年)完成

20th

1970 (昭和 45)
137,881 人

文化会館(現在は閉館)が完成

30th

1980 (昭和 55)
237,058 人

30周年を記念し、第1回「所沢市民フェスティバル」が所沢航空記念公園で開催…写真②

40th

1990 (平成 2)
302,386 人

40周年を記念し、第1回「所沢シティマラソン」開催…写真③

50th

2000 (平成 12)
331,222 人

50周年を記念し、「全国だんごまつり in 所沢」開催市のシンボルマークを作成



60th

2010 (平成 22)
342,657 人

60周年を記念し、「NHK のど自慢」が市民体育館で開催…写真④市のイメージマスコット「トコロん」誕生

◎左側年表示の下段と右側棒グラフはその年の人口を表しています。なお、昭和25年の人口は現在の行政区画により推計したものです。



▲所蔵: 肥田野憲一さん



▲撮影: 山畑寿雄さん



70th

2020 (令和 2) 年70周年を迎え、ますますアツい所沢。目が離せません!



▲ところざわサクラタウン完成

◀グランエミオ所沢グランドオープン

トコロんは10周年だよ(4面参照)



70年の、ありがとう。

これまでの幸せのものさしは「成長、発展、便利、快適」にあったのではないのでしょうか。でも、地球も社会も軋みが生じ、既にこれまでとは違ったものになりつつあると私は感じます。大震災からコロナまで、この10年間の自然からの問いかけに、そして、人口減と少子超高齢社会に、私たちはどう応えるのか。行動が問われるのがこれからです。

これまでの歩みを大切にしながら、所沢市は、新たな歩みを目指していきます。

首都圏に位置し生活利便、かつ、武蔵野の雑木林や狭山湖など自然豊かなまち、の特長

はそのままに、もっと自然を活かして(自然との調和、共生)、人々が自ら関わり助けあって、おおらかに(絆・参加・包摂)、風土と市民の持つ文化を大切に(文化)、人が生来もつ力(人間力)の発揮を頼んだ社会、「善きふるさと」を、市民の皆様とともに創り、継承したいと思っています。

皆様、未来の子どもたちのために、これからの所沢をともに築いてまいりましょう!

所沢市長 藤本 正人

